

# 地域イノベーション シンポジウム2018

in  
函館

## 今後の展望と課題

日時

平成30年 **2/15** 木

13:00~17:00

※開場(受付開始) 12:00

会場

**函館北洋ビル**  
〒040-0063 北海道函館市若松町15-7  
(8階ホール)

定員  
**150名**

**参加無料**

(※会費制交流会の参加費は  
お一人3,000円の予定。)

開催の  
趣旨・目的

- ◎地域の科学技術に着目し、それらを活かした事業化や秀逸な取組に関する有益な情報の結集・交流を通じ、全国各地のイノベーション創出現場で参照・実践されるべき知見・ノウハウ等を広く関係者間で共有し、地域科学技術の事業化・社会実装へとつなげていく。
- ◎各地で地域イノベーション創出に取り組んでいる関係者が一堂に会し、地域支援イノベーション戦略支援プログラムをはじめとする事業の実践における問題意識や成果、展望等を交流することを通じて、人的なネットワークの形成を図る。

## 会場アクセス

- 函館空港からバスで約20分
- JR函館駅から徒歩で約2分

※一般来場者用の駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。



【主催】文部科学省 【参加方法】ホームページから事前登録 <https://sc-form.jp/94/108/f74/>

【開催事務局】株式会社リベルタス・コンサルティング 担当：五十嵐 スマホ、タブレットからお申し込みいただけます。

東京都千代田区六番町2-14東越六番町ビル2階 E-mail: r-innovation@libertas.co.jp Tel: 03-3511-2161



13:00▶13:05 ■開会挨拶 文部科学省

プログラム  
I

## 基調講演 及び 特別講演

## 「地域科学技術を活用したイノベーション創出をめぐり今後の展望と課題」



前田 真氏



後藤 芳氏

13:05 基調講演 前田 真氏 株式会社産学連携機構九州 代表取締役社長

14:05 特別講演 後藤 芳一氏 一般財団法人 機械振興協会 副会長 技術研究所長

「地域科学技術」とは何であるか、それを活用したイノベーション創出をめぐりどのような展望と課題を指摘できるかについて、2名の有識者の講演を通じて、シンポジウム全体を貫く問題提起をいただきます。

「基調講演」(前田氏)では「地域イノベーション戦略支援プログラム」での講演者自らの経験等に基づき、また、「特別講演」(後藤氏)では事業化や社会実装に関わる知見に基づき、ご講演いただきます。

事前アンケート結果報告

プログラム  
II

## パネルディスカッション

## 「地域科学技術を活用したイノベーション創出をめぐり障壁・課題の解決に向けた仕組み・方策の改善点」

14:15

モデレーター

前田 真氏 株式会社産学連携機構九州 代表取締役社長

15:25

パネリスト(五十音順)

大津留 榮佐久氏 地域イノベーション戦略支援プログラム「福岡次世代社会システム創出進出拠点」プロジェクトディレクター  
(一般社団法人 中部経済連合会 イノベーション委員会 特別参与)

後藤 芳一氏 一般財団法人 機械振興協会 副会長 技術研究所長

堤 孝志氏 ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役

増田 洋介氏 公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構 専務理事

安井 肇氏 北海道大学大学院 水産科学研究院長

関係各界の有識者をパネリストに迎え、地域科学技術を活用したイノベーション創出をめぐり障壁・課題とそのブレークスルーについて、過去の地域イノベーションシンポジウムで取り上げた主要テーマを踏まえ、地域科学技術を事業化・社会実装という成果に結びつけるための仕組みを version up する上でのポイントを探ります。

休憩・移動

プログラム  
III

## ワークショップ(WS)

## 「地域イノベーションの創出に必要な仕組みの基盤強化：人材と資金」

WS①：地域イノベーションを担う人材の確保・育成・登用・定着

15:40

ファシリテーター 大津留 榮佐久氏 (地域イノベーション戦略支援プログラム「福岡次世代社会システム創出進出拠点」プロジェクトディレクター)

WS②：研究推進・事業化・社会実装に向けた必要資金の確保と有効活用

17:00

ファシリテーター 西岡 純二氏 (公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター 専務理事)

シンポジウム前段の基調・特別講演とパネルディスカッションの内容を踏まえて、事業化・社会実装を成功させる上で必要な仕組みを支える基盤的要素である「人材」と「資金」をテーマとして、有識者のファシリテーションにより、これらの要素を地域においていかに強化し、有効性を高めていくかについて、参加者同士の率直な意見交換を行います。

WS①：地域イノベーションを担う人材の確保・育成・登用・定着

WS②：研究推進・事業化・社会実装に向けた必要資金の確保と有効活用

※①、②ごとに別々の会議室を用意し、セッションを行います。(WS②については9階会議室で行います。)

※どちらのセッションに参加するかは、シンポジウム参加申込み段階で選択していただけます。

17:15▶19:00 ■交流会